

2006.7

「映画のまち調布」部会 第4回楽習会

「映画に命をかけた男の話」

～一人のプロデューサーの人生～

1992年12月6日、一人のプロデューサーが53年の生涯を閉じた。彼の最後のプロデュース作品「月光の夏」が完成して11日目のことであった。松木征二。最初のプロデュース作品が「若者たち」。それ以来、観客を信じ、映画の力を信じて映画を作り続けた男だった。

日 時	平成18年7月26日（水） 午後7時～9時
会 場	調布市社会福祉総合センター2階団体室
講 師	シネマ・ディスト 代表 川嶋 博 氏

【講師プロフィール】1948年生まれ。新潟市出身。

1970年、映画「戦争の人間」上映成功を応援する学生グループの代表として日活へ。その後有志で事務所設立。㈱仕事（旧社名俳優座映画放送㈱）松木征二氏とともにエム・プロジェクト設立、代表として活動。2003年、シネマ・ディスト設立、代表就任。「エイジアンブルー浮島丸事件」「草の乱」などの作品を手がける。

主 催 NPO法人 調布まちづくりの会～「映画のまち調布」部会～

Tel&Fax 042-488-4022

E-Mail: machikai@annie.ne.jp

定 員 先着50名（参加費無料）